

タイトル：在庫が多いとなぜ悪い？

在庫が多いと何が問題なのでしょうか？

皆さんはどのように答えるのでしょうか？

問題1：不良資産になってしまう可能性が高くなる

通常売れている商品の在庫であれば良いですが、在庫の中には、「売れ行きが悪くなった商品」や「もはや出荷することの無い補用部品」等が含まれる場合が多いです。

そういう物は、赤字を覚悟で売却してしまうか、あるいは、捨ててしまうか…。

せっかくお金をかけて買ったり、作ったりしたのに、もったいないことこの上ないです。

問題2：新商品の発売の足かせになる

問題1とも関連しますが、売れ行きを悪い商品を在庫として抱えていればいるほど、新商品の発売が難しくなります。

在庫を消却する前に、新商品を出してしまうと、在庫分はその時点で「旧商品」となり、正規の価格で販売することはできなくなってしまいます。

しかしながら、そうは言っても、「売れないまま」で放置することもできません。

結局、会社としては、在庫品が「旧商品」になることを覚悟で新商品を発売するのですが、その在庫数が非常に多いと、苦しい意思決定になります。

問題3：在庫管理コストがかかる

在庫を保管するためには、保管のためのスペースが必要ですし、性能を維持するための保全費用もかかります。

また、火災保険に加入したり、固定資産税を支払ったり…。

棚卸をするのだって、大変です。

このように、いろいろな経費がかかるのですが、こうした経費は当然、

在庫が多くなればなるほど増加するのです。

問題4：効率的な資金運用ができない

これまで説明してきた通り、会社では「つぎこまれたお金」が資産に姿を変えて運用されています。

そして、在庫も「棚卸資産」というように、当然、資産です。

しかし、在庫をいくら抱えていても、それ自体で「利益」を生み出すものではありません。

むしろ、上記の理由1～3の通り、せっかくの利益が「無くなる」可能性もあるのです。

NO.7の「ロレックス」の例を思い出してください。

20万円で5個仕入れて、結局30万円で売れたのは1個。

その時、売上原価は1個分の20万円で、残りの4個分の80万円は在庫になります。80万円は確かに「資産」なのですが、現金で持っている場合と比べたらどうですか？現金で持っていれば、いろいろと使いみちがあるし、預金をすれば、少しは利息がつきます。

営業マンは「在庫切れ」を心配するので、「在庫は多く持っていた方が良い」と考えがちです。

確かに、「注文を受けた時に在庫無しで断る」ということは、営業としては販売機会の損失になります。

しかし、持ちすぎることは困りものです。

一般的に、在庫を保有することでかかる諸々の費用は「原価の10～25%」と言われています。

例えば、在庫金額(=棚卸資産)が、100億円の会社だったら？

もし、在庫が半分になれば、 $100\text{億円} \times 50\% \times (10\% \sim 25\%) = 5\text{億円} \sim 12.5\text{億円}$ ！

これだけの費用が削減できる計算になるのです。